

# ○旧岩保木水門（釧路町）

釧路川治水の歴史を語りつぐ  
—旧岩保木水門—



## 施設Point1

釧路湿原にたたずむ、歴史的建造物。  
通常閉鎖されている建屋内部を特別に見学できます！

## （施設概要）

- ・大正9年8月に発生した洪水を契機に、釧路川新水路掘削が開始され、膨大な時間と労力を要した末に、昭和5年新水路が通水。続く昭和6年に、釧路川分流地点の岩保木に水門が完成しました。
- ・平常時は釧路川に水を流し、木材流送や舟運の便を図り、洪水時や結氷期は水門を閉じ、釧路市街地への洪水や土砂、氷塊の流入を防ぐ役割を担っていました。

## （見学箇所）

- ・建物外観（看板設置箇所など）
- ・建屋内部、新岩保木水門や釧路川、
- ・釧路湿原など、周辺の景観

## （見学時間）

- ・20～40分程度

## （見学可能人数）

- ・20名程度（2班に分けて10名程度ずつ）

## （施設までのアクセス）

- ・JR釧路駅より車で30分



令和6年度土木学会選奨  
土木遺産に認定されました！



釧路湿原が見渡せる！



## 施設Point2

建屋の中の様子。水門を開閉する機械が  
当時（昭和6年）のままに残されています。

# ○旧岩保木水門（釧路町）

## 【駐車場・その他施設】

- ◆ 駐車場：あり  
大型バスは管理用道路の通行ができないため、最寄り駐車場を利用（右下地図参照）
- ◆ トイレ：なし

## 【オススメポイント！（周辺の観光スポットなど）】

### 【細岡展望台】

釧路湿原の東に位置し、湿原の広大な眺望を楽しめる人気の展望台。釧路川が湿原を蛇行する風景は、四季折々に違った表情を見せてくれます。隣接するビジャーズ・ラウンジに立ち寄り、暖炉のある喫茶スペースでひと休みも♪



## 【注意事項】

- ・ 建屋の入口扉、ゲートは施錠しており、許可なく立ち入ることができません。
- ・ 旧水門内部は建設当時の状態で保存しています。
- ・ 木造建屋のため、一度に入室する人数を制限します。
- ・ 内部は照明施設がなく、階段や通路など足元が不安定な狭小箇所での見学となります。

## 【位置図】

